

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月1日

事業所名 ひまわり学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	3		・クラスが狭く感じるため、できるだけスペースを確保できるように机等を配置しています。 ・遊戯室、午睡室が手狭に感じるため、利用児の状態に合わせて適宜環境調整を行っていきます。
	② 職員の配置数は適切である	12	1	・その日の利用児によって、職員が配置されています。	・規程人数がいても、お子さんの状況により不足している場合が合ったり、配置人数に差があったりすることがありますので、その都度状況に応じて対応しています。
	③ 生活空間は、本人に分かり易く構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	0	・クラスが構造化されお子さんがわかりやすい環境整備を行っています。 ・クラスに全体表示があり、分かりやすくなっています。	・環境について、適宜確認を行っていきたいと思います。
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	0	・毎日、清掃を行っており、清潔が保たれています。 ・ワークスペース、遊戯室を活用しながら、お子さんの活動に合わせています。	・継続して取り組んでまいります。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と設定の振り返り）に、広く職員が参加している	12	1	・毎日、振り返りを行っており、参加できない職員には、情報を回覧して周知しています。 ・PDCAサイクルではないですが、確認を行っています。	・係ごとの年間計画があるため、これに沿って進めています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	12	1	・事業所評価はワークスペースに掲示してあります。	・事業所評価は毎年行っていますが、出来ていないところもあるため、業務改善の担当を明確化してまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者等向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の広報やホームページ等で公表している	13	0	・評価表は廊下の掲示板、ホームページに掲載しています。	・評価表を公表したことを、お手紙を配布してお知らせしています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	4(1)		・内部監査を行い、外部評価に向けて準備を進めています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	法人内、外ともに定期的に研修を受ける機会があります。	・継続して取り組んでまいります。
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13	0			

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保護者とのやり取りや'ねがい'などを基に分析し、作成につなげています。 ・全員ではないが、遠城寺評価を行っています。 ・医療機関で受けた検査結果を参考にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、当園でも専門職による正式な検査を行ったり、標準化されたアセスメントツールを使用していけるようにします。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0	毎月、療育支援会議を行い、支援内容について共有しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの担任が行っています、他の職員にも共有したり、意見を聞いたりして行うこともあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種と話し合う機会が少ないため、支援に参加する職員から意見交換ができるように取り組みます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことも取り入れています。 ・一日の流れも、日によって変更しています。 ・季節に合わせたプログラムを盛り込んでいます。（雪遊び等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組んでまいります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13	0	お子さんの状態に合わせて、目標を設定し、個別課題に取り入れています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、ホワイトボードで職員の動きを一覧にしたことで確認がしやすくなりました。 	
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全員での振り返りが難しいですが、必要なことはホワイトボードや朝会で口頭にて共有するよう心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりも全体への、周知が行いにくい場合があるので共有できる方法を検討していきます。特に緊急の案件については、掲示する対応を取っていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、記録を入力しており、記録の方法で、「種別」を設定したことで検証しやすくなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の取り方が標準的ではないので、勉強会を行います。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の療育支援会議内で行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組んでまいります。
	㉑	児童発達支援事業所サービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13	0		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は対象のおこさんがいないですが、保育とは共有・連携できています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のおこさんが利用された時は関係機関と、連携していきます。

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13	0	・必要時に協力医には、相談できる体制になっています。	・対象のおこさんが利用された時は関係機関と、連携していきます。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	0	・引継ぎの連絡会に参加することができています。 ・必要時に、情報共有の機会を設けています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	0	・引継ぎの連絡会に参加することができています。 ・必要時に、情報共有の機会を設けています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	0	・専門機関と連携し研修を行いました。 ・つばめ療育館、発達相談室と連携しています。 ・コンサルテーションを受けています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	8	・運動会を合同で実施しました。 ・交流は少なめだが、今後年長児が交流できるパンづくりなどを行う予定です。	・定期的に交流はしていないため、同じ建物に居ることを活用していきたいと思えます。来年度は、お祭りごっこをこども園と合同で行う予定です。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13	0	会議等に、積極的に参加しています。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	送迎時、連絡ノート、相談会等でこまめにお伝えしています。	
保護者への説明責任等	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	6(1)	・職員がペアレントトレーニングの研修に参加しています。	・今後、ペアレントトレーニングを開始する予定としています。
	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	1	・運営規定と利用者負担等については利用契約時に説明することができています。また、廊下に掲示してあります。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「自発的支援の提供すべき支援」のねらいおよび支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	0		
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	・定期的に相談会を実施しています。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	0	・座談会を開催しています。	・父の会の活動を検討中です。 ・りんく組は父母の会がないため、全利用児親向けの支援も検討していきます。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	・定期的に相談会を実施しています。希望がある場合には、個別に対応しています。	・意見ポストがあるので、周知していきます。

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	・法人内ブログは月1回、広報誌は2か月に1回発行しています。	・継続して取り組んでまいります。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	13	0	・施錠可能な場所に保管しています。	・十分注意していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	・絵カード等を活用しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	8(1)		・地域に開かれた事業運営のため園開放の機会をホームページでお知らせしていく予定にしています。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	1		・マニュアル等は策定してあります。年度初めの保護者会にて周知していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0		・地域住民を交えた合同訓練も必要かと思われるため、防災委員会で検討します。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0	・予防接種の記録については、年度初めに書類に記入していただいています。 ・内服については、お薬の説明書のコピーをいただいています。 ・てんかん発作等については、発作時の対応をフローチャートにして掲示しています。	・利用しているおこさんの状態に合わせて、適宜更新していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	・医師に指示書を頂き、対応しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	・職員会議時に、全体で共有しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	・研修を行っています。	
	④⑦	どのような場合にやむお得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0(3)		・身体拘束を実施していないため、該当しません。やむを得ない身体拘束に備えてマニュアルの作成と研修を行っています。対象のおこさんがいる場合には、個別支援計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。